

NYマーケットレポート (2014年7月1日)

NY市場では、米雇用統計など、主要な経済指標の発表を控えて様子見ムードも強く、序盤からドル円・クロス円は小動きの展開となった。そして、5月の米中古住宅販売成約指数が市場予想を上回る結果となったことを受けて、ドル/円は堅調な動きとなった。しかし、先週の米GDP確定値が大きく悪化したことで、今週発表される一連の米経済指標に対する慎重な見方が広がっていることや、早期の利上げ観測が後退したとの思惑から、ドルは主要通貨に対して軟調な動きとなった。また、米株価が軟調な動きとなったことや、米長期金利が低下したこともドルの圧迫要因となった。

2014/7/1 (火)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	101.50	101.54	101.30
EUR/JPY	138.99	139.01	138.69
GBP/JPY	173.63	173.69	173.28
AUD/JPY	95.97	96.00	95.43
EUR/USD	1.3692	1.3696	1.3678

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	101.60	101.49
EUR/JPY	139.13	138.90
GBP/JPY	174.18	173.56
AUD/JPY	96.01	95.91
EUR/USD	1.3698	1.3680

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	15326.20	+164.10
ハンセン指数	休 場	
上海総合	2050.38	+2.05
韓国総合指数	1999.00	-3.21
豪ASX200	5375.90	-19.85
インドSENSEX指数	25516.35	+102.57
シンガポールST指数	3242.64	-13.03

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6802.92	+58.98
仏CAC40	4461.12	+38.28
独DAX	9902.41	+69.34
ST欧州600	344.89	+3.03
西IBEX35指数	11007.80	+84.30
伊FTSE MIB指数	21563.43	+280.40
南ア 全株指数	51480.19	+534.93

*香港市場はEstablishment Day のため休場

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	101.55	101.57	101.46
EUR/JPY	138.90	139.03	138.85
GBP/JPY	174.17	174.29	173.93
AUD/JPY	96.42	96.50	95.97
NZD/JPY	89.09	89.25	88.92
EUR/USD	1.3680	1.3701	1.3676
AUD/USD	0.9496	0.9505	0.9453

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	16956.07	+129.47
S&P500	1973.31	+13.08
NASDAQ	4458.65	+50.47
その他主要株	終値	前日比
🇨🇦 トロント総合	15146.01	+51.76
🇧🇷 ボルサ指数	42872.84	+135.67
🇨🇦 ボベスパ指数	53171.49	+3.27

7/2 経済指標スケジュール

08:50	【日】6月マネタリーベース
10:00	【NZ】6月ANZ商品価格指数
10:30	【豪】5月貿易収支
15:00	【英】6月ネーションワイド住宅価格
17:30	【英】6月建設業PMI
18:00	【欧】5月生産者物価指数
19:00	【南ア】2Q BER消費者信頼感
19:30	【ポーランド】政策金利発表(時間不確定)
20:00	【米】MBA住宅ローン申請指数
20:30	【米】6月チャレンジャー人員削減数
20:30	【米】7月RBC消費者予測指数
21:15	【米】6月ADP雇用統計
22:30	【シンガポール】6月電子産業指数
22:30	【シンガポール】6月購買部景気指数
23:00	【米】5月製造業受注指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1326.60	+4.60
NY 原油	105.34	-0.03
CME コーン	422.75	-1.50
CBOT 大豆	1400.00	-0.50

米国債利回り	本 日	前 日
2年債	0.47%	0.46%
3年債	0.88%	0.86%
5年債	1.65%	1.63%
7年債	2.17%	2.13%
10年債	2.57%	2.52%
30年債	3.40%	3.35%

7/2 主要会議・講演・その他予定

・イエレンFRB議長 講演

(出所:SBILM)

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 101.52 ユーロ/円 138.96 ユーロ/ドル 1.3687

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6780.77	+36.83	ダウ INDEX FUTURE	16775	+35
仏 CAC40	4449.76	+26.92	S&P500 FUTURE	1956.30	+3.90
独 DAX	9858.51	+25.44	NASDAQ FUTURE	3852.00	+11.50

(出所: SBILM)

21:40

《 要人発言 》

ルー米財務長官

- ・「米中関係は、一直線の進展ではない」
- ・「米中の進展を楽観していない」
- ・「中国市場の開放、成果はまちまち」
- ・「人民元はなお過小評価されている」
- ・「中国は不動産バブル懸念あること理解、問題はおそらく世界的な脅威でない」
- ・「為替市場に中国当局介入している兆候」
- ・「中国の経済改革ペースに不満」

22:33

米主要株価

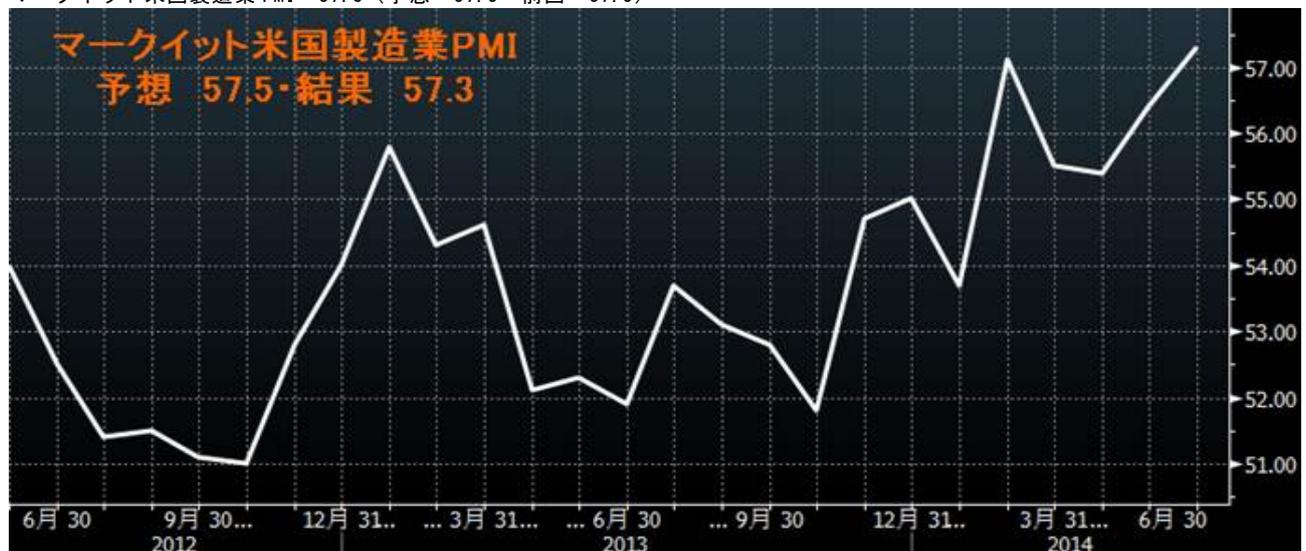
米主要株	株価	前日比
ダウ平均	16911.66	+85.06
ナスダック	4429.74	+21.56

(出所: SBILM)

22:45

《 経済指標の結果 》

マークイット米国製造業 PMI 57.3 (予想 57.5・前回 57.5)

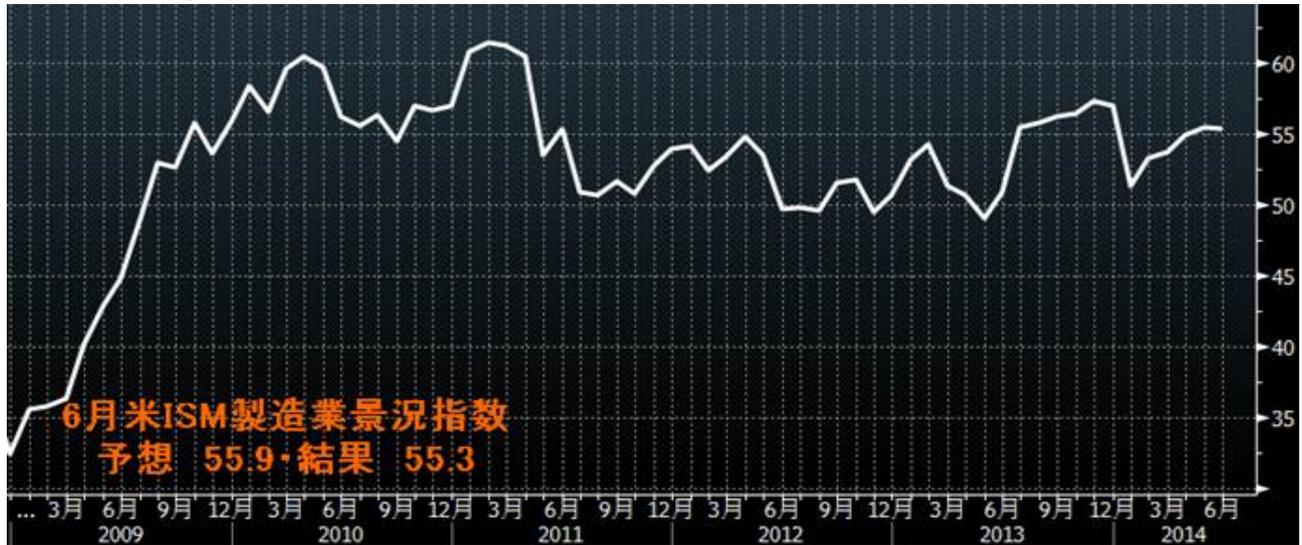


(出所: ブルームバーグ)

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

6月米ISM製造業景況指数 55.3 (予想 55.9・前回 55.4)



(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ

◀ 米 ISM 製造業景況指数 ▶

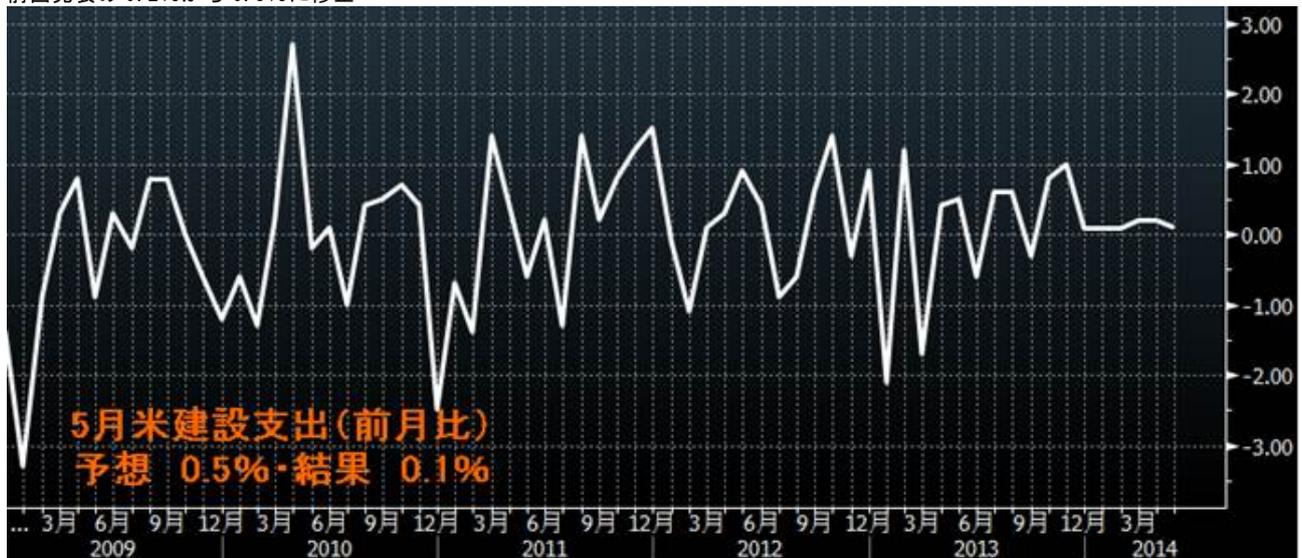
	6月	5月	4月	3月	2月	1月
景気	55.3	55.4	54.9	53.7	53.2	51.3
価格	58.0	60.0	56.5	59.0	60.0	60.5
生産	60.0	61.0	55.7	55.9	48.2	54.8
新規受注	58.9	56.9	55.1	55.1	54.5	51.2
受注残	48.0	52.5	55.5	57.5	52.0	48.0
入荷遅延	51.9	53.2	55.9	54.0	58.5	54.3
在庫	53.0	53.0	53.0	52.5	52.5	44.0
雇用	52.8	52.8	54.7	51.1	52.3	52.3

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

5月米建設支出(前月比) 0.1% (予想 0.5%・前回 0.8%)

前回発表の0.2%から0.8%に修正



(出所:ブルームバーグ)

23:00

＜ 経済指標の結果 ＞

7月米 IBD/TIPP 景気楽観指数 45.6 (予想 48.0・前回 47.7)



(出所:SBILM)

経済指標データ

＜ IBD/TIPP 景気楽観指数 ＞

	7月	6月	5月	4月	3月	2月	1月
景気楽観指数	45.6	47.7	45.8	48.0	45.1	44.9	45.2
半年先の景気先行	41.6	45.6	43.1	45.7	42.8	43.8	44.3
資金繰り見通し	54.7	56.8	55.5	58.2	54.4	54.1	56.1
政府の政策信頼度	40.4	40.6	38.9	40.2	38.2	36.8	35.1

23:35

＜ NY 株式市場 序盤 ＞

序盤の株式市場は、中国の景況感を示す製造業購買担当者指数が上昇したこと、世界経済の先行きに対する期待感が広がり、買いが集まった。また、米製造業景況指数や米建設支出が市場予想を下回ったものの、あまり材料視されていない。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比で125ドル高まで上昇する動きとなっている。

＜ 経済指標のポイント ＞

(1) 6月の米マークイット米国製造業 PMI 改定値は57.3 (速報値は57.5) となり、2010年5月以来、約4年ぶりの高水準となった。生産が59.6 (前月61.0)、新規受注は58.8から(61.2)と共に2010年4月以降で最高となった。50が判断の分かれ目となる。マークイットの首席エコノミストは、6月の米製造業は拡大したとして上で「生産や受注、従業員数がりセッション以来の水準圏に上昇しており、製造業拡大という点では4年間で最も好調な四半期を締めくくった」と述べた。

(2) 6月のISM製造業景況指数は55.3と市場予想の55.8を下回り、前月からも0.1ポイント低下した。しかし、製造業の景気拡大・縮小の分岐点となる50は13ヵ月連続で上回った。生産が60.0 (前月61.0)、仕入れ価格が58.0 (60.0)と前月から低下した一方、新規受注は58.9 (56.9)と上昇した。また、雇用は52.8 (52.8)、在庫は53.0 (53.0)といずれも前月から横ばいとなった。6月は18業種中15業種で業況拡大が報告された。

(3) 5月の米建設支出は、年率換算で前月比+0.1%の9561億3700万ドルとなり、市場予想の+0.5%は下回ったものの、3ヵ月連続のプラスとなった。前年同月比は+6.6%。民間部門は振るわなかったが、公共部門が全体を下支えする結果となった。

①民間の建設支出は、前月比-0.3%の6828億2000万ドル、前年同月比は+9.0%だった。民間の内訳は住宅建設が前月比-1.5%の3547億7600万ドルと3ヵ月ぶりのマイナスとなった。住宅以外の施設建設は、前月比+1.1%となり、電力や通信が増えた一方、製造業関連の支出は減った。

②連邦政府などの公共部門の建設支出は、前月比+1.0%増の2733億1700万ドルとなり、前年同月比は+1.2%だった。内訳は連邦政府が前月比-8.9%となった一方、州・地方政府は+2.0%となった。

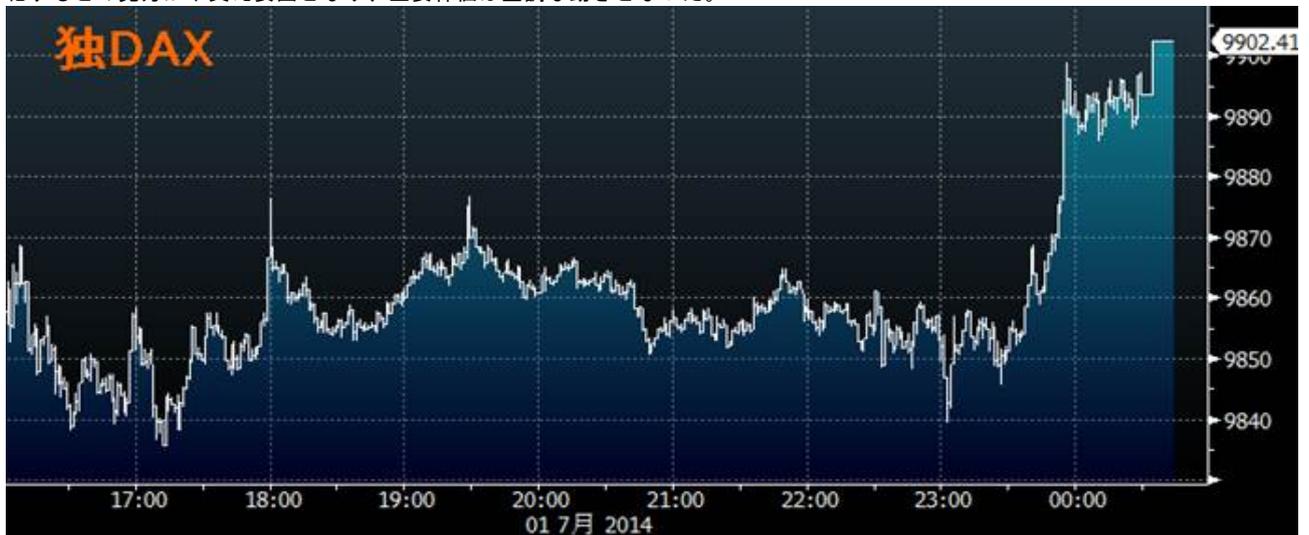
(4) 7月の米 IBD/TIPP 景気楽観指数は、45.6と市場予想の48.0を下回り、前月から2.1ポイント低下し、4ヵ月ぶりの低水準となった。節目の50を21ヵ月連続で下回った。IBD/TIPP 指数は、ミシガン大やコンファレンスボードの消費者信頼感指数の先行指標として注目される。50を上回ると楽観的と判断する。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6802.92	+58.98
仏 CAC40	4461.12	+38.28
独 DAX	9902.41	+69.34
ストック欧州 600 指数	344.89	+3.03
ユーロファースト 300 指数	1382.31	+11.71
スペイン IBEX35 指数	11007.80	+84.30
イタリア FTSE MIB 指数	21563.43	+280.40
南ア アフリカ全株指数	51480.19	+534.93

(出所:SBILM)

＜欧州株式市場＞

欧州株式市場は、好調な中国の製造業景況感指数などを受けて世界景気の回復への期待が広がったことや、ECBの緩和姿勢が長期化するとの見方が下支え要因となり、主要株価は堅調な動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

1:00

米主要株価・中盤

ダウ 16951.38 (+124.78)、S&P500 1973.97 (+13.78) ナスダック 4457.20 (+49.02)

＜NY債券市場・午前＞

序盤のニューヨーク債券市場は、中国の製造業関連の景況指数が改善したことから世界景気の先行きに対する懸念が後退し、安全資産とされる米国債の売りが先行した。ただ、5月の米建設支出や6月のISM製造業景況指数が市場予想を下回ったことを受けて下げ幅がやや縮小する場面もあった。

午前の利回りは、30年債が3.38%（前日3.36%）、10年債が2.55%（2.53%）、7年債が2.16%（2.14%）、5年債が1.65%（1.63%）、3年債が0.88%（0.87%）、2年債が0.47%（0.46%）。

＜欧州のポイント＞

①EU統計局が発表した5月のユーロ圏失業率は11.6%となり、4月は11.7%から11.6%に下方修正された。また、25歳未満の若年層の失業率は域内全体で23.3%（前月23.4%）だった。国別では、ドイツ5.1%（前月5.1%）、フランス10.1%（10.1%）、スペイン25.1%（25.1%）、イタリア12.6%（12.5%）、ポルトガル14.3%（14.6%）、スウェーデン7.8%（8.1%）、ポーランド9.6%（9.7%）、キプロス15.3%（15.5%）、最も低いのはオーストリアの4.7%（4.8%）。

②6月のユーロ圏製造業景況指数（改定値）は51.8と、前月の52.2から低下し、12ヵ月連続で50を上回ったものの、6月の拡大ペースは昨年11月以降で最低となった。スペインの指数は2007年以来7年ぶりの高水準となった一方、フランスは2ヵ月連続で活動拡大・縮小の分かれ目となる50を下回り、スペインのプラス効果を打ち消した。また、ドイツとイタリアで減速したほか、フランスに加えギリシャでも50を下回った。域内のまだら模様の成長はECBの政策かじ取りをさらに難しくするとの指摘も出ており、3日のECB理事会に注目が集まっている。

1:15

FRBは、ニューヨーク連邦準備銀行を通じた公開市場操作により、29.5億ドルの米長期国債の買い取りを実施した。

6月米自動車販売

- ・GMは+1.0% (予想-6.3%)
- ・クライスラーは+9.2% (予想+5.9%)
- ・フォードは-5.8% (予想-6.6%)
- ・トヨタは+3.3% (予想+3.5%)
- ・日産グループは+5.3% (予想+3.0%)
- ・ホンダ・アキュラは-5.8% (予想-5.8%)

2:00

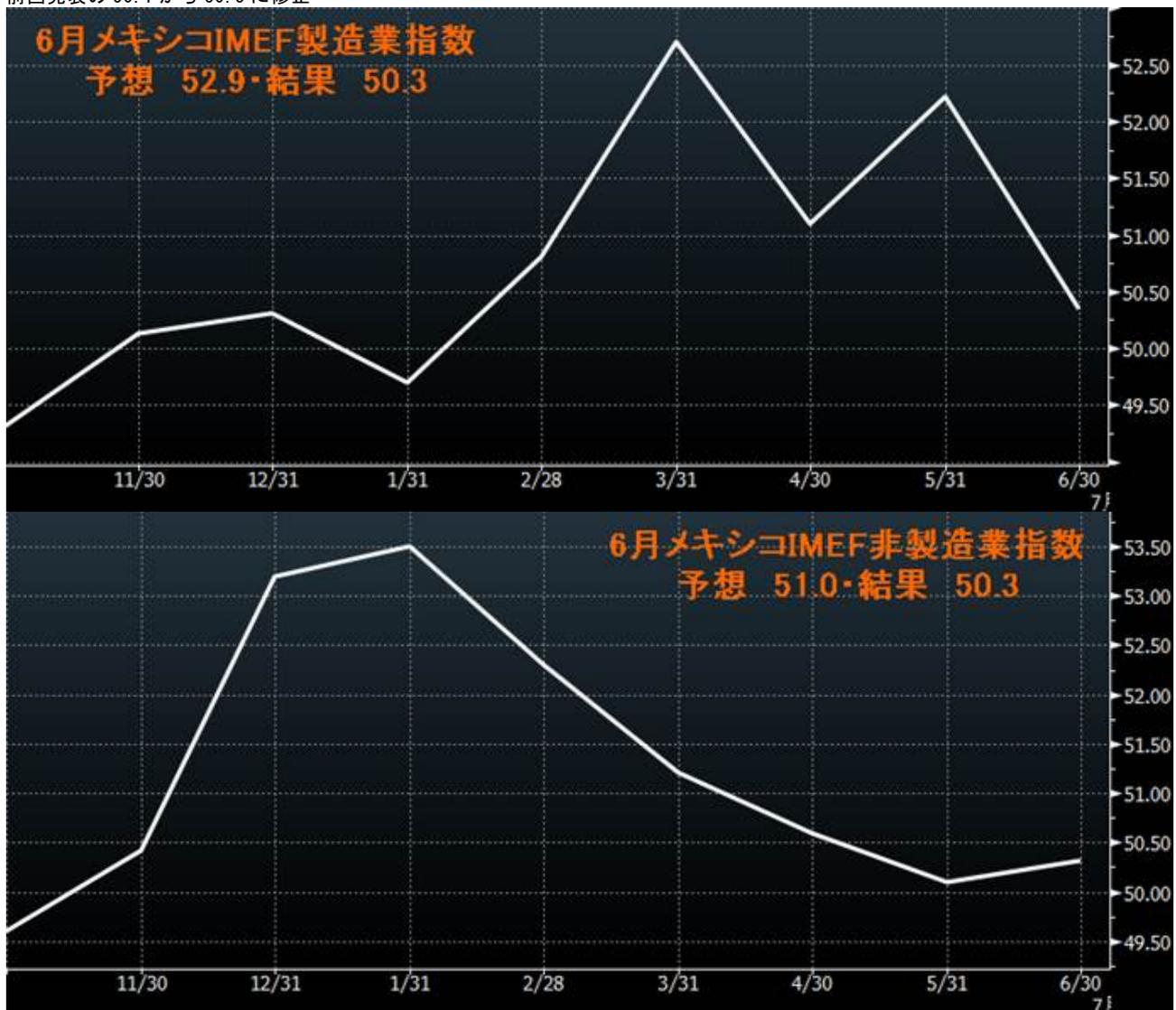
◀ 経済指標の結果 ▶

6月メキシコ IMEF 製造業指数 50.3 (予想 52.9・前回 52.6)

前回発表の52.2から52.6に修正

6月メキシコ IMEF 非製造業指数 50.3 (予想 51.0・前回 50.1)

前回発表の50.1から50.5に修正



(出所:ブルームバーグ)

《ポイント》

米財務省は、米中戦略・経済対話の日程を7月9-10日と発表した。米国からはケリー国務長官とルー財務長官が参加し、中国側の汪洋副首相（商務担当）らと協議する。米国側は中国に対し、為替の元相場をもっと市場原理を反映したものにするよう柔軟な対応を求める方針。

3:45

NY金は、中心限月が前日比4.60ドル高の1オンス=1326.60ドルで取引を終了した。

4:15

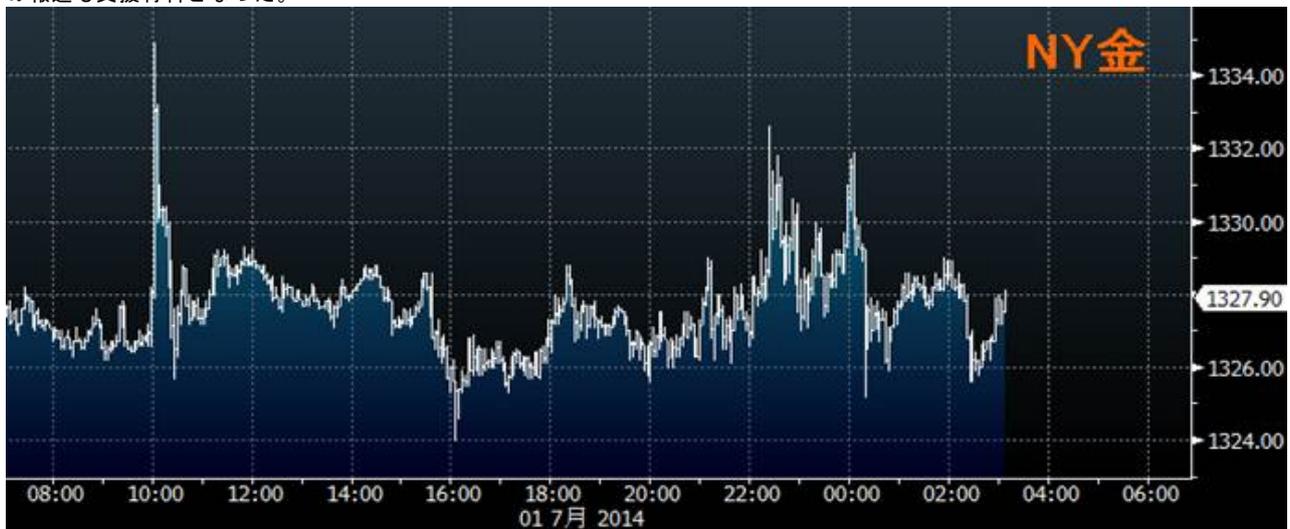
NY原油は、中心限月が前日比0.03ドル安の1バレル=105.34ドルで取引を終了した。

主要商品	終値	前日比
NY GOLD	1326.60	+4.60
NY 原油	105.34	-0.03

(出所:SBILM)

《 NY 金市場 》

NY金は、欧米で緩和的な金融政策が当面続くとの観測を背景に先高観が強まり、買いが優勢となった。また、中国の堅調な経済指標を背景に、景気回復に伴う金需要が増加するとの期待感が広がったことや、上場投資信託（ETF）への資金流入が増えたとの報道も支援材料となった。



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY原油は、中国の製造業関連の景況指数が改善したことで、景気回復に伴いエネルギー需要が増えるとの期待感から買いが先行した。その後は、イラク産原油の供給不安が後退していることが圧迫要因となり、売りが優勢となった。



(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	16956.07	+129.47	16998.70	16828.53
S&P500 種	1973.31	+13.08	1978.58	1962.29
ナスダック	4458.65	+50.47	4471.60	4424.43

(出所:SBILM)

＜米株式市場＞

米株式市場は、中国の景況感を示す製造業購買担当者指数が上昇したことを背景に、世界経済の先行きに対する期待感が広がり、主要株価は堅調な動きとなった。また、米製造業景況指数や米建設支出が市場予想を下回ったものの、反応は限定的となった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比で172ドル高まで上昇し、最高値を更新する動きとなった。ただ、終盤にはやや上げ幅を縮小する動きとなった。なお、S&P500と共に、終値ベースでも最高値を更新する動きとなった。



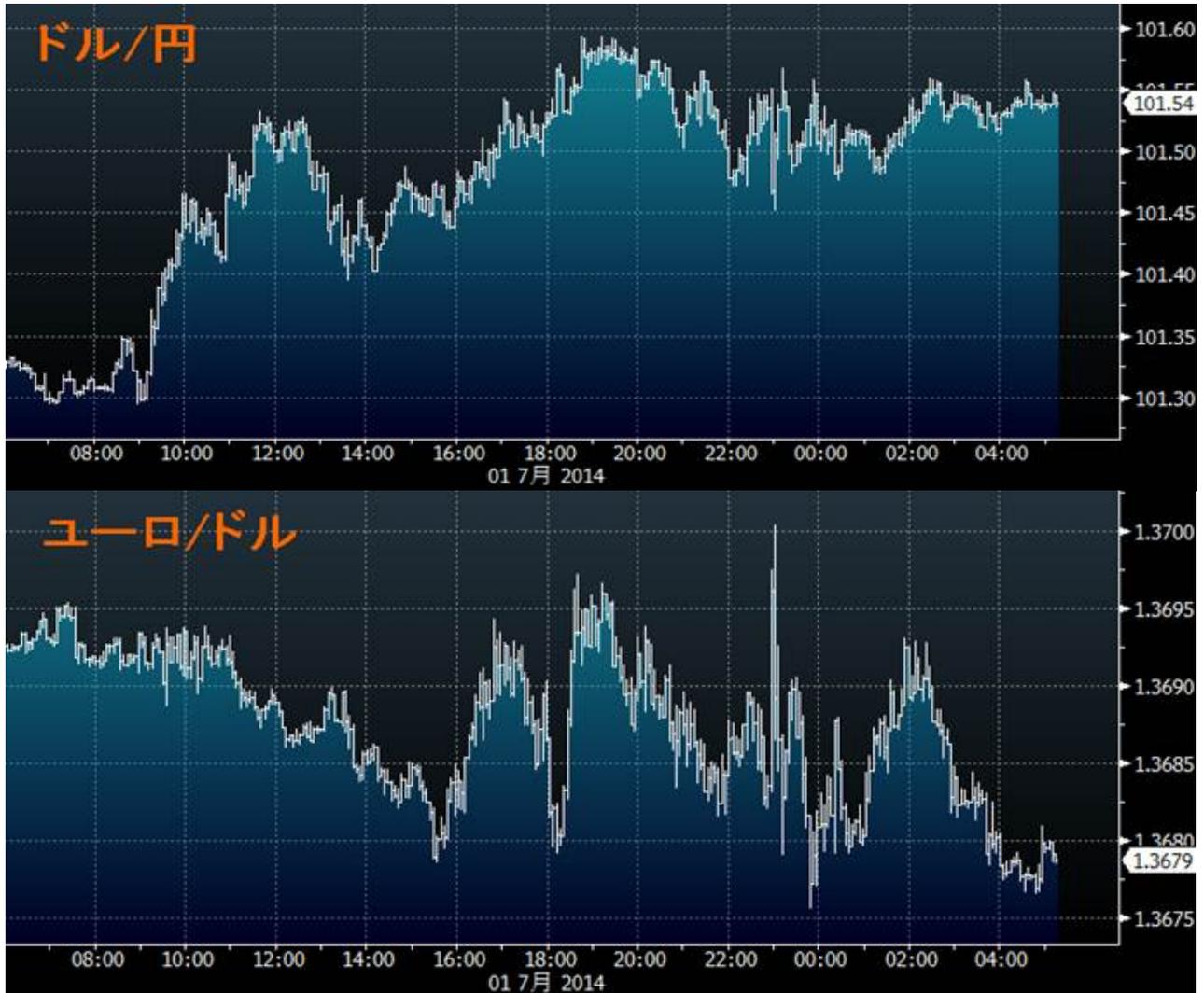
(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	101.55	101.57	101.46
EUR/JPY	138.90	139.03	138.85
GBP/JPY	174.17	174.29	173.93
AUD/JPY	96.42	96.50	95.97
NZD/JPY	89.09	89.25	88.92
EUR/USD	1.3680	1.3701	1.3676
AUD/USD	0.9496	0.9505	0.9453

(出所:SBILM)

◀外国為替市場▶

外国為替市場は、米雇用統計やECB理事会など重要なイベントを控えて様子見ムードも強まっており、ドル円・クロス円はやや限定的な動きとなった。ただ、株価が堅調な動きとなったことをあり、豪ドルなどは比較的堅調な動きとなった。また、米経済指標が市場予想を下回る結果となったものの、反応は限定的となった。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。